

ガ・ハグユットタイムズ 「地域とこどもの未来をつなぐ」をテーマにした地域新聞です。

1 きょう 今日バグるんに きちゅうはつさく 「機中八策」という コミュニケーションの ぐたいさく つた 具体策を伝えるぎゅ!

2 **機中八策**とは… これは、児童相談所長である渡邊直氏が考えた「非暴力コミュニケーションの具体策」人は「して欲しいことをしてもらえなかったとき」「して欲しくないことをされたとき」に、嫌な気持ちになったり、怒りがこみあげて、言葉のカードである「ブルーカード」をとっさに切る傾向にある。

3 しかし、「気づきスイッチ」として、人がほっこりあたたかい気持ちになれる「オレンジカード」に切り替えましょう。

4 たとえば… バグるん、なに何やってるぎゅ?? いつも言ってるぎゅけど、あそ遊んでばかりじゃだめぎゅよ!

5 さらにエスカレートするハグユットマン **ほん**と遊んでばかりぎゅね!
なんかい何回言っても**わ**からないぎゅね、
あそ、もう、遊んであげないぎゅ

6 でも… バグるん、あそ遊びたいぎゅよね?? でも、別の遊びをするときは、ひとつずつ片づけをしてほしいぎゅ。

7 わかったバグ! わかってくれたぎゅかな?
 こんど今度は、一緒に片付けしてくれるぎゅ?
 いっしょ一緒にお片付けするバ!

8 オレンジカードを切られた相手は、「これでいいんだ」という【自信】【自己肯定感】が育つ
大丈夫バグ **そうぎゅね。**

9 かぞく 家族や友人、地域の人がこの「機中八策」を知ることによって、あたたかいコミュニケーションが広がるといいぎゅ!!
オレンジカードを意識するバグ!!

スマホで動く魔法新聞
 ▶このマークのある記事は「動画」でもご覧いただけます。

STEP1 「COCOAR2」アプリのインストール
 STEP2 アプリを起動して動画マークのある写真をかざす

キャラトピ!

えどがわ農業応援団長「えどちゃん」

えどちゃん



江戸川区を代表するキャラクターの「えどちゃん」。江戸時代生まれの男の子で、將軍徳川吉宗が鷹狩りに来たときに生まれたということで約300歳という……えどちゃんのヒミツとして、頭で特産品の小松菜や区内産農産物を育てることできるというすごい技を持っています。えどちゃんには、「えどちゃん音頭」と「えどちゃんマーチ」があります。江戸川区のイベントでは必ずといって良いほど流れる「えどちゃん音頭」。最近では、ハグユットマンとバグるんが歌いながら踊っているの、是非みんなで覚えて踊ってみましょう!

いつものあなたはどっちのカードが多いですか?

ほっこりあたたかい「オレンジカード」とは
 伝わりやすい非暴力コミュニケーション (非暴力的行動・言動)

- ほめる・認める
- 待つ
- 練習する
- 代わりにする行動を示す
- 環境づくり (※い・ち・お・し環境)
- 約束する
- 気持ちに理解を示す
- 落ち着く

ちょっと青ざめる「ブルーカード」とは
 伝わりにくい暴力的コミュニケーション (暴力的行動・言動)

- 否定
- 怒鳴る・たたく
- 嫌味を言う
- 脅す
- 問う・聞く・考えさせる
- 疑問形
- 罰を与える
- なじる (人格否定する)

深呼吸して気持ちを切り替える	お → 落ち着く(感情)
子どもが話せる状態を待つ	ま → 待つ
穏やかに近づき(環境)	が → 環境づくり(いおし環境)
テレビ視たいよね〜でも…	さ → 気持ちに理解を示す
まずは宿題をしてほしい	か → 代わりにする行動を提示
わかった?(子どもが)「わかった!」	や → 約束
じゃあ、学校から帰ってきたら何する?	れ → 練習(確認・回復)
えらい!! 宿題が終わったらテレビ観たいよ	ほ → 褒める
何やってんの!?	ぎ → 疑問形
いつも言ってるでしょ!!	ど → 怒鳴る、叩く
テレビ見るなって!!	ひ → 否定形(禁止)
今日という今日は許さないからね!!	ど → 脅す
テレビ観てたから一週間テレビ禁止!!	ば → 罰を与える
これでいいと思ってるの? 何する時間?	と → 問う、聞く、考えさせる
何回言っても分からないなんて、バカじゃないの?	なし → なじる
はあ(ため息)…いつもこうだといのいねえ…	い → いやみ

HUGYUTTO NEWS

児童相談所長が考案した「機中八策」知ってる? 「非暴力コミュニケーション」の具体策紹介!

2020年4月に江戸川区に、地域の子どもに関するさまざまな相談窓口として児童相談所「はあとポート」が出来ました。ハグユット協会として「はあとポート」へお話を伺いにいき、子どもに対する声掛け、コミュニケーションの取り方には「機中八策」という具体策があることを知りました。これは、千葉県の子育て支援センター(渡邊直氏)が考案したもので、「非暴力」をあらゆる世代に浸透させられたら」という想いで作られました。発生してからの関わりではなく、事前に防ぐことができる「予防」が大切なのです。そのためにも、親と称して、暴力や暴言を使

う子育て感のある今の日本の風土・文化を修正していく必要があるのではないかと、「非暴力」によるコミュニケーションを子どもも同じく、大人同士、世代間で共有し、子どもも大人も「自信」や「自己肯定感」を持って生きられる世の中を目指したいという想いです。家族や近所、地域の人が互いに声を掛け合い、オレンジカードが多く切られる「機中八策」を知ってもらうことで、おなにかと思っっています。ハグユット協会では地域の方々に協力してもらい地域のこどもを地域で見守れるように活動していきたいと思っ

